

3R80 ローター油圧膝継手

調整方法と手順 - 医療従事者用資料 -

【3R80ロータリー油圧膝継手とは】



- イールディング機能
- 油圧機構による遊脚相制御
- 水深3mまでの防水機能
- ロック機能付き
- 34mm径チューブ

実長：220mm * 本体下縁～上部接続アダプターが被る間の長さ
 体重制限：150kg
 最大屈曲角：150°
 重さ：1,240g

【調整箇所】

立脚相の調整

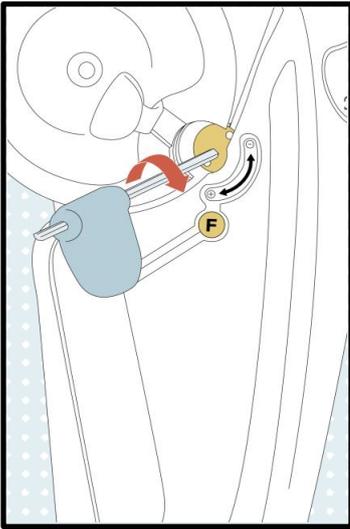
調整箇所	内容	工場出荷時の設定
	「!」 上部リング 抵抗の効きやすさ	低閾値 小さい負荷で立脚抵抗に達する
	「S」 下部リング 油圧の抵抗値	最大抵抗値

* 黒いカバーキャップは紛失しないように注意してください。

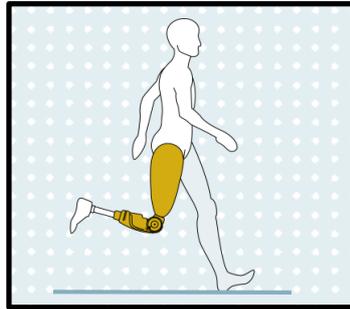
遊脚相の調整

調整箇所	内容	工場出荷時の設定
	「F」 バルブ 屈曲抵抗	最小抵抗値
	「E」 バルブ 伸展抵抗	最小抵抗値

1) 遊脚相の調整、追隨性の調節：本体左右にある『F』と『E』の調整ネジ



- ① 過度に踵が跳ね上がり、歩行スピードに追従しない場合
『F』ネジを+方向に回す



踵が過度に跳ねあがる
プラス方向へ回す

- ② ターミナルインパクトが出る場合
『E』ネジを+方向に回す

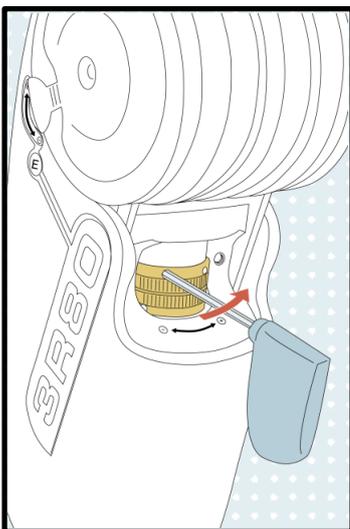
* 予めターミナルインパクトの防止機能は付属しています。ユーザーが気になる場合のみ調整を行います。

- ③ 伸展補助が弱すぎて、振りが重い場合

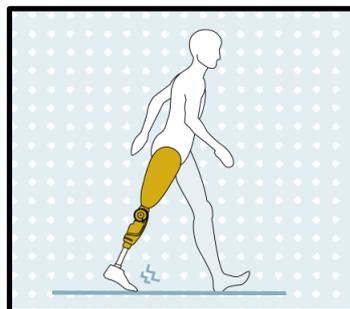
膝継手下部のキャップを外し、付属の伸展補助バネを内蔵されたバネの中に入れます。

* キャップはプラスチック製ですので締める際はネジの破損に注意して下さい。

2) イールディングの効きの調整：上部リング

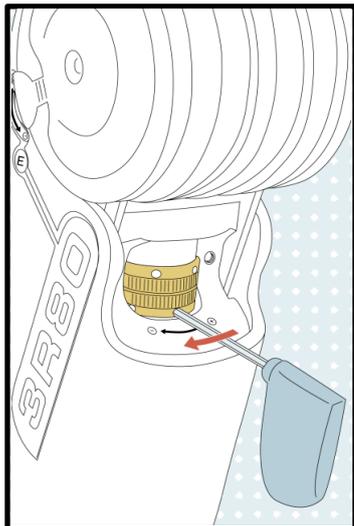


- ① 平地でゆっくり歩行し、つま先が床に引っかからないか確認します。
引っかかる場合は上部リングをプラス方向に回します。



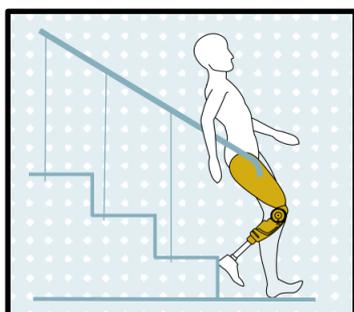
義足側が引っかかる
プラス方向へ回す

3) イールディングの抵抗の調整（膝の曲がるスピードの調整）：下部リング

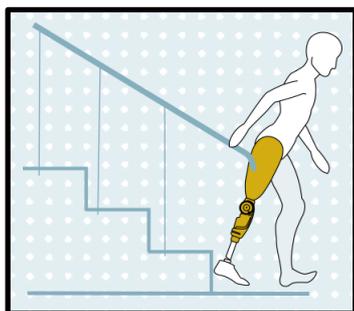


- ① 出荷時の状態でイールディングが100%機能するか確認します。
平行棒の中などで義足を1歩前に出し、体重をのせて膝を曲げる練習を行います。平地で効きにくい場合は、なだらかな斜面を利用すると簡単に体重をのせる事ができます。
- ② 座位動作を行い、油圧抵抗を調整します。
- ③ 必要に応じて、スロープや階段の1段目などを利用して膝の曲がるスピードを調整します。
付属の調整レンチで下部リングをマイナス方向に回すと抵抗が弱くなり、膝の曲がるスピードが増します。
健側とバランスのとれたスピードになるように調整します。

階段で膝の曲がるスピードを確認する際の指標



膝の曲がスピードが速い：イールディングが弱い
プラス方向へ回す



膝の曲がスピードが遅い：イールディングが強い
マイナス方向へ回す

- * 階段を下りる際、義足の足部が階段に半分かかるように置きます。
- * そのまま体重をかけてイールディングを機能させながら健側を降ろします。

4) 繰返し確認

1)に戻り、階段などでイールディングが100%機能するか再度確認します。
機能しない場合は2)の上部リングをマイナス方向に回します。

1)～2)を繰り返して問題なければ、黒いキャップを嵌めて調整は完了です。

- * 黒いカバーキャップは、リングの緩みや埃などの侵入を防ぐため、必ず装着してください。

5) 伸展補助バネの交換

膝継手が完全伸展するために補助がさらに必要な場合は、付属のバネを追加します。

膝継手下部のカバーを六角レンチで回し、付属のバネを追加します。

* 下部のキャップはプラスチック製のため、締める際にネジ山を破損しないよう注意して下さい。



6) ロックの操作方法



膝を完全伸展位にする事で、ロックレバーの操作が行えます。

義足を後方に引き、つま先に荷重をかける事で、膝を完全伸展位にし、ロックとロック解除を操作します。

ロックレバーの位置	
ロックレバーを下げる ロック	ロックレバーを上げる ロック解除（フリー）
